夕刊
磐城新聞
八月三日發行
日曜祭日翌日休刊

作品の過程と價値（一）

青木淳

事物を表現せんとする藝術的な構想が吾人の腦裏に醸成される場合に三つの場合がある。即外部の刺戟に依るものと、内部から止むに止まれず、湧き出づるものと、内外總貫して居る場合とである。例へば目前の情景をば和歌なり俳句なりにするときは外部刺戟による事勿論にて、述懐とか詠詩などの場合は多く内部から湧出せるものであり、物を見て思ひを寄するといふ場合は内外總貫の場合である。

この三つの場合すべて藝術品が未だ作者の心にあつて外部に現はれぬ間を内術品とよび、この内術品を詞藻にのせたり、或は彩管に託するなりして外部に表現した藝術品を外術品といひここで始めて作品とよんであるのである。而して今、内術品の成生の過程を考へてみるに記憶の懐古にしても、或は直接事象を觀察するにしても必ずや先づ美術的氣分の中に沒入する事が第一であると思はれる。即ち『思ひ出』を書かうとする場合にはその時の氣分にひたり乍らその回想のうちに素材を需むべきであるの氣分の統一によつて素材に統一的な氣分が流れ遂第にその感情が、高まり鋭くなり、筆をおろさんとする中心點が、油然と現はれその美的感情が中心に對つて集中した時始めて感興か起き書かうとする中心思想か明瞭な姿と現はれ、そこで始めて内術品が出來所謂藝術上受胎（コンセプション）といふものはこのときをいふのであらう。而してその受胎せる内術品をして外術品として表現するときに、美的感情か、作者の意識の上に明滅し、次そこに作者の苦心かあり巧拙があるのであるが、吾人は技巧の點だけをもつて作品の價値をば論ずる事は避けねばならぬ。即技巧も心的内容も打つて一丸とした處の藝術品そのものについて始めて作品の價値を見たいのである。内術品として光りあるものを外術品への技能が拙劣な爲却つてその光りをば發揮し得ない場合もあるが、その内術品さへ光輝あるものであるなら、その價値を認めないわけにはゆかない。荒削であり乍ら大にせまる作品のあるのは、これである

磐城歌壇

新妻久滿男選

『臨海學校』　赤井嶽男

○ざはめける霧の驛頭の赤白帽、臨海學校の一團ならん
○捕れ來し蟹にも倦きて疲歸りの、吾子はそのまゝ寢入りたりけり
○臨海校の第三日なり仕度しつゝ、ひるの献立を吾子はたのしむ

寸評　子に對して限り無き愛着を感じて常に歌を詠んだ人間詩人山上憶良の感情の隱性的なものか此の歌にみる事が出來る氣がする。一首一首に父として微笑と滿足とが窺はれ實ほゝ笑ましくなつてくる。取材は淸新であるが、表現に少々無理があるのは微笑ゝ裡に父の心がとらはれ過ぎた爲であらうか。兎に角嫌味のない歌である。

應募規定

平音頭七夕祭歌詞募集

□歌詞　郷土小唄としてローカルカラーの豐かなるもの
□用紙　四百字詰半紙判原稿用紙
□篇數　一人一篇限りとす
□姓名　住所姓名（或は筆名）は封書のみに自署し原稿には絶對に附記せざること
□宛名　平町田町一六磐城新聞社「七夕祭」係
□締切　八月末日
□發表　九月下旬

賞金貳拾圓（入選一篇）
賞金拾圓（佳作五篇）

選者（イロハ順）
新妻久滿夫
小山田滋
渡邊何鳴
高久晩霞
白木英尾

版權其他一切は本社所有となす。

潮聲硯靜抄帳

朧夜　赤羽松堂

朧夜の汐騷近き磯家かな
浪の穗のくづれて朧月夜かな
朧夜やまたうちかへす浪かしら。

まのあ　り込波にかすみ白魚曳き
街道は雪なくなりし彼岸かな
日は西に霧島つゝじ眞紅

小名濱港偶題

珠雲　小野務平

工程進捗港灣披
維海維山景勝宜
昔日漁莊蕪片影
如城買舶去來滋

寄贈書目

△國民法律八月號　質問鑑定大審院判例その他民衆の法律相談相手たる記事多數（一部金十五錢、東京市芝區二本榎町一ノ四七其社）

8月4日　△家光譜代大名の妻子を江戸在府せしむ（寛永一九）△後藤象二郎伯薨去（明治三〇）△狂言の野村氏一行を迎へ平で三派聯合素謡大會開かる（昭和九）

8月5日　△安藤信睦相續、磐城平第十代の主となり雁之間詰仰付らる（弘化四）△谷屋の番頭山野陽治熱海で鐵道往生を遂ぐ（昭和八）

その日〳〵

○いよ〳〵あすの晩から七夕――。色とり〴〵のテープの吹きながしが夜風になびいて、行人の肩にかゝるのは風情ある趣きだ

小説　誰が殺したか（87）

今野賢三作　龍造寺膽畫

第二の殺人（五十七）

咲山は態度をあらためるやうにして、ひとしきり眼をつぶつて考へこんでからやつと思ひきつたやうに口をひらいた

『房枝子さん！今更かういふと、きつと、あなたは意外に思はれることでせう、さうです、驚かれるのも無理はありません、なるほど富枝子さんのお亡くなりになる前までは實を云へば、ほんとに、あなたゞけを、あなただけを愛してゐたのでした……』

『あたしもさう信じてをりましたわ』

『さうです、そのとほりでした、ところが……』

『お姉樣も、あなたを愛してゐらしつたことはわたしも存じてをりますわ』

『それがです僕は初め富枝子さんの愛には、どうしても冷淡な男でした、それが富枝子さんがお亡くなりになつてから心からすまなくなりました』

『それは、わたしだつて、お姉さまには、ずゐぶん心苦しい思ひをしてきましてよ』

『房枝子さん！僕はもう、これ以上申上げる勇氣がありません』

『すると、あなたのおつしやるのは、お姉さまにすまないから、わたしとも別れるといふ意味になりますわね』

『さあ、さうばかりもいへませんが……』

『だつて、さうとよりしか考へられませんわ』

『まあ、さうお考へになつていたゞいてもいゝんです』

さすがに咲山は、ほんたうのことをそのまゝいいまいなところで言葉をにごした

『もし、さうだとすれば、わたしも、考へなければなりませんわ。お姉さまに對して、心を苦しめてゐる事は、わたしも同じ事なのだから……』

『どうぞ、お願ひですから、これぎりにして下さい』

『だけど、それは……わたし、どうしても……』

『できないと仰有るのですか？』

『わたし、もう、あたまが目茶苦茶になつたわ、わたし、お姉さまに對してすまないとしても！わたしは、お別れするのはいや！』

『困りましたね』

『わたしを助けて下さい、咲山さん、どうぞ、わたしを可愛想だと思つて助けて下さい』

房枝子は、またさらに泣きくづれた

咲山は、かうした、あはれな、いぢらしい姿を見ると心持がにぶらないわけにはゆかなかつた

『すみません……』

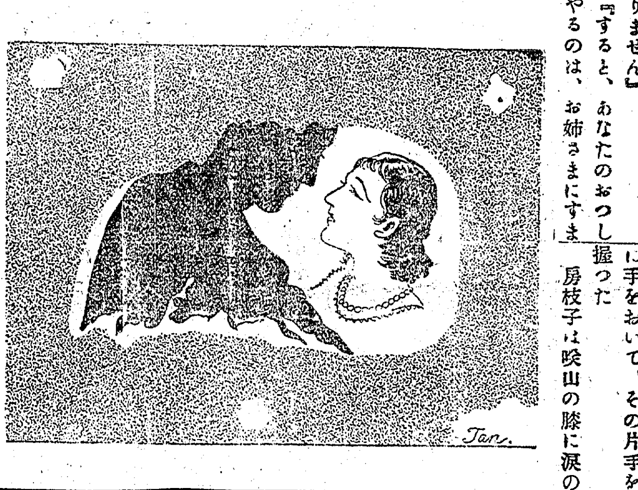
かういつて、房枝子の肩に手をおいて、その片手を握つた

房枝子は咲山の膝に涙の顔を伏せた

かうして、二人は抱合つてきたのだ。かうして二人はゆるし合つてきたのだ

咲山のあたまもみだれてしまつた。房枝子を抱寄せないではゐられなくなつた

われを忘れて、愛撫のなかにとげこんでいつた……



廣告

下痢病妙藥ヲ御紹介致シマス
天下一品散
平町ネヅミ坂角
特約店　桑原商店
『取次販賣將ニ應ズ』

前田醫院
院長　前田濟美
植田町電話一二四

新田町ノおでんや
榮ちやん
デ
冷イ黒ビール
夏ノ散歩ニ是非一パイ

御新盆の御用意下サイ
御戒名入提灯……特製秋草。蓮花
其他御コノミニ依リスソ模樣入レ
岐阜提灯各種……
カナラズ良ク安ク御願致シマス。是非御下命下サイ。
平四丁目　スガノヤ提灯店　電話95

貸家廣告

一、柳町一六番地　五圓より六圓五十錢迄（三軒）
一、同一一番地　四圓より四圓五十錢迄（三軒）
一、舊城跡二七番地　八圓（一軒）
一、古鍛冶町三六番地　八圓（一軒）
一、内郷村小島　五圓五十錢より七圓迄（三軒）
一、白銀町一五番地　八圓五十錢より廿圓迄（三軒）
一、同一一、一二番地　八圓五十錢（二軒）
一、仲間町三番地　五圓五十錢より六圓迄（二軒）
一、同五六番地　四圓より七圓迄（五軒）
一、鷹匠町六番地　四圓五十錢より七圓五十錢迄（四軒）

平町白銀町
加藤營業所
電話三二番

本年新盆に相當り候へ共提灯其他の供物等御贈與の事固く御辭退申上候
八月
平町紺屋町
柳下家

絹張灯、牡丹行灯、[illegible]行燈、御殿行燈、スダレ行燈、紋天行燈、猫足行燈變り形、
新柄澤山取揃へました
お盆提灯大賣出し
平町四丁目
菅野屋商店
電話一五七番
遠近に不拘見本持參致します

お新盆提灯に御注意!!!
近年各地に於て再製提灯が市場へ出る爲めお贈りの方も頂いた方も誠に迷惑され又失禮にもなりますので製造者の間で相談の上今年の品物へは必ず昭和十年製の赤色マークを入れてあります。御買求めの際は必ず御忘れなく昭和十年製マーク入と御指命下さい。
昭和十年七月
提灯同業組合

藥業報國

同胞よ斷じて病氣するな斷じて世界一となれ…………！
勇氣斷行進取は健康より來る…………！
此夏は斷じて病氣すなホシチヤコール錠とホシ胃腸藥とに依つて、日本を世界一の製藥たらしめ、世界一の元氣な國民たらしむる、ホシの藥業報國共鳴者への感謝として………。

六月六日ヨリ八月八日マデ

ホシチヤコール錠の三十錢御買上に對して　ホシ胃腸藥の二十錢進呈
ホシチヤコール錠の五十錢　同　ホシ胃腸藥の五十錢　進呈
ホシチヤコール錠の壹圓　同　ホシ胃腸藥の壹圓　進呈
ホシチヤコール錠の貳圓　同　ホシ胃腸藥の二圓　進呈
ホシチヤコール錠の五圓　同　ホシ胃腸藥の五圓　進呈
（パンフレット進呈）

ホシ胃腸藥
胃腸の强化こそ健康增進の根本!!
强健なる胃腸は健全なる身體を作る
クスリはホシ
.20 .50 1.00 2.00
忠實なる胃腸の掃除薬
ホシチヤコール錠
一週に一回位胃腸の掃除をしますと常に爽快にして、チフス、赤痢の豫防に非常なる効果があります。胃腸の故障防止上には既に定評を得して居ります。
.30 .50 1.00
注意　楣ノ一隅に「東京星製藥株式會社」と記入なきものはニセモノにつきお買求めの際御注意を乞ふ。
東京・星製藥株式會社

星製藥株式會社　ホシチエーンストアー一同
ホシチエーンストアー平支部　ホシ藥舖
平町三丁目・電話四二九番

鐵道其他一般方面共 激増相つぐ石炭需要
最近の各山元發送統計

連日九十四五度の暑熱に石炭の話も一寸暑つ苦しいがそれも増送の統計とあつてはまた自ら腋下に清涼ヶ感ずるものがある。即ち去月二十一日以降三十一日迄の常磐炭山元發送高は

營業用三、三一八車四四、四三八廸 省用一、五九三車二〇、一四八廸 合計五、四一一車六四、五八六廸

で前年同期に比し

（増差）營業用一七八車二、三九一廸 省用三二七車三、八六一廸 合計五〇五車六、二五二廸

で七月全月分を通算すると營業用一萬百十九廸、省用七千四百五十六廸、合計一萬七千五百七十五廸の激増を示してゐる

視察の土木局長 諸事盡力を言明
平、四倉で陳情攻め

勿來、久ノ濱間國道並に小名濱港を視察した內務省廣瀬土木局長は一昨一日長橋町尼子橋畔で新川改修工事實現委員の陳情を受け更に視察ヶ終へて四倉町海氣館に落着くや今度は前記國道六號線鋪裝工事期成同盟委員の陳情攻めに合ひ同代表森に向け出發したが右陳情に對し同局長は

內務省の明年度豫算は二十二億圓で全般的にその希望を容れられるか何うか判らぬが當地方は東北振興會の豫算に可能性があるから、此の方で最善の力を盡す心算である

と言明してゐたと

ラヂオ体操
參加延一萬名突破

平町のラヂオ体操會第三日の出席人員は左の如く總計三千四百三十三名、延一萬七百八十三名である

△第一校會場 第一校兒童八〇三 第二校兒童一、〇二五 一般二二九 合計二、〇五七 延六、二四八

△第三校會場 第三校兒童八七一 一般五〇五 合計一、三七六 延四、五三五

鹿島村經濟 更生諸施設

今年度經濟更生村に指定された鹿島村では過般縣から計劃樹立方の指定を受け目下志賀村長自ら第一線に立ち着々準備を進めてゐるが近く行ふ選擧爾正部落民大會に大い之を强調する事になつたと

尚同委員四十七名のうちには意氣旺んな中堅青年も加へ此程同村鎮守神社前で辭令の傳達をなした上自力更生を宣誓した更に村長は堅實なる更生計劃樹立のため今三日から矢吹ヶ原修練場で開かれた縣下經濟更生講習會に出席したと

潜り氷水屋
十六名を告發

昨報—無屆氷屋の一掃を期す事になつた平町當局では昨二日平署と連絡町內を片つ端から洗つた結果十六名を發見したので平署では直にこれを告發する事になつた、尚當然課稅されるフルーツケーキ營業者も同規定を知らずに開業してゐたものも十五〃程あつたがこれらは何れも嚴重說諭の上直に屆出でしむる事になつたと

再た始まつた 幸運の葉書
話が凉臺を賑はす

一時杜絕えてゐた所謂幸運の手紙が過般內鄉村磐炭某社宅に舞ひ込んだのを皮切りに再た出初めて各方面で話題を賑はしてゐる、一昨日も赤井村字高萩松本政春さん宛『一ト知人八人に同文で出せば必ず近き日にあなたに幸福が廻つて來ます』と走り書きのペン字葉書が屆いたので政春さんは早速これを同村駐在所に屆け出た、目下平署で研究中である

平商將校異動

平商同窓會商友會では同校配屬將校駒場繩大尉が今回の陸軍異動で原隊仙台工兵第二大隊勤務となつたので今夕七時より送別會を開くと、尚後任は同隊より佐藤今朝次郎中尉近く着任すると

年豊勞働者
潰地の買收決定次第 本年度分工事に着手
豫算十八萬圓の夏井川改修

去る昭和七年來順調に進捗してゐる夏井川改修工事の今年度改良工事は豫てより內務省土木局に於て調査中であつたが愈々豫算十八萬圓を投じ

（左岸）平窪村大村鯨岡字幕の內中鹽、好間村字川中子千五米地內

（右岸）平町字上川原手掴權現坂地內、好間村川中子千百米地內

の箇所を實施する事になつたので同川事務所では目下これに伴ふ潰地買收を進めてゐる、これに對し平町關係者（潰地二町八段）は一昨一日午後から九品寺內に又平窪方部關係者（同三町四段）は昨二日午後二時から村役場內に夫々地主會を開き價額等につき協議する處あつたが事務所では地主が何れも豫期して居る事とて順調に進む事と觀て居り纏り次第直に着手すべく目下職業紹介所にも就勞人夫の斡旋方を依賴してゐると

空に煙火。水に灯 涼快に人は醉ふ
鎌田の燈籠流し近づく

來る十八日（舊七月二十日）冷涼たる初秋の宵、夏井の流心を江るエメラルドの如き大小幾千の燈籠に觀衆を恍惚たらしめる

恒例鎌田町青年分團主催の無緣佛供養流燈會につき地元分團では昨二日午後七時から臨時總會を開き種々協議した結果、今年は夏井川改修工事も竣功した年丈けに例年以上馬力をかけてやる事になつた

當日は賞品山積みの懸賞燈籠競技大會を催す外堤防には招待者觀覽場を設け、尚當日の呼物たる仕掛大花火も今年は特に新な處を數發紹介する事になり目下準備を急いでゐる

鎌田神谷間直通
豫算が順調に行けば 愈々來年度に着工か

前記河川改修工事の附帶事業として着手する筈であつた平、神谷間道路直通計劃の新鎌田橋架換並に鎌田山開鑿は內務省としても目下東北振興會の豫算に於て計劃を進めてゐる國道第六號線の改修工事と共に實現する方針らしいので夏井川同事務所でも右方針に基き準備を進める事になつた、尚內務省としては來年度から三年乃至十年の繼續事業として平町、神谷間一千米改良鋪裝として

幅員七、五米 事業費二十萬圓

の豫算を大藏省に要求してありこれにも當然前記鎌田山開鑿工事費も含れて居る事とて同山の開鑿事業は愈々來年度から實現されるものと觀測されるに至つた

湯本度衡檢査

湯本町下は三、四の兩日町內一齊に亘り度量衡檢査を執行

修養雜誌 智光發行

平窪村中平窪眞言宗智山派常勝院間野宥如師を中心として曩に創設された磐城智山佛教青年協會は

私達のその日〳〵の生活を、不安なく、もつと深みの意義あるものとする其の糧として佛教を皆さんと共に修得し、且つ習踐することによつて、生活の純化を圖り度いと思ひます——

なる發願から智山派管長旭純榮氏を顧問に同志を糾合し會報、パンフレット、施本の刊行、講演、講習會、鄉土文化事業講習會の開催、經典、鄉土史の研究その他右を趣旨とする運動に邁進してゐるが此程『世相は混純と迷妄の極地にあり過ぎ越し方は嘆息あるのみ明日を迎ふる恐怖あるのみであるが明日の遠足を喜ぶ兒童の如き希望を布衍したい』趣旨を强調する傳道雜誌『智光』を發刊した

惜敗
磐中は名商に 平商は小田原中に
全日本軟式庭球戰績

神宮外苑の全日本選手權大會に次ぐものとして輝かしい權威を認められてゐる日本庭球聯盟主催の全日本中等校軟式庭球大會（第三回）は去る三十一日東京新宿美津和コートで全國の優秀軍六十五組をすぐつて開催されたが、出場の磐中、平商兩軍は善戰、磐中はコート決勝に名古屋商業に敗れ、平商は決勝戰に常勝小田原中學大將組と接戰遂に惜敗した

第四回戰（コート決勝）

平商業 5—3 宇都宮商業

名古屋商業（伊藤 杉野）4—2 磐城中學（皆川 大谷）

准決勝戰

平商業（岩佐 本田）4—2 小田原中學（御守 渡邊）

決勝戰

小田原中學（鈴木 立松）5—3 平商業（岩佐 本田）

なほ右の成績は野球の今後十年に反し既に全日本の最高水準に進んだ事を證明するもので庭球いはきの名は眞に驚異の的となつてゐる又東北學院主催の北日本選手權大會（昭和六年第八回八年第十回に平商木田—安島組優勝）第十二回は來る二十三、四の兩日仙台市に開催されるが全勝を目指し兩軍出場すると

一回戰の優勝磐中 强剛福師と對戰
抽籤の結果組合決定

全日本中等野球東北豫選大會第二日は天候思はしからず明四日に延期された、なほ第一回戰縣內校全勝のため抽籤を行つた結果、磐中は老巧福島師範と對戰に決定接戰を期待されてゐる

地上に垂れた 電線に觸れ卒倒
危かつた除草歸りの農婦

飯野村大字上高久字菅田農鈴木ミキ（五三）は一日午後七時頃田の草取りの歸途同字地內に修繕中の東部電氣電線が垂れてゐたのにふれ卒倒人事不省に陷つたのを附近民が發見直に平町諸橋外科病院に舁ぎ込み應急手當を加へた結果危く一命は取り止めた

中保線區の許可を受けた

神職支部 敬神皷吹

神職會石城支部では一日から七日間の拜神週間に際し敬神思想普及のため郡內全般に宣傳ビラを配布した

尖端的食堂 一文字開設

大井川幸隆氏經營の食堂『一文字』は過般來平町警察署通り中の湯隣りへ開設準備中であつたが此程內外の設備が整つたので愈々今三日開業した

平町簡閱點呼

來る十六日第一小學校で執行する

時借名儀で騙る

永戸村大字ト永井農阿部市信（三三）は去る昭和七年十一月平町七丁目旅人宿熱心湯事件スセ方を訪れ直に支拂ふから現金十五圓を詐欺した外此種手段で十數件の詐欺を働き二日平署に檢擧さる

驛前にやぐら出願

平町白銀町青年分團では例年の如、來る舊盆十五、六の兩日驛前に盆踊り櫓を建てるため此程

內妻の搜索願

湯本町字日渡清弱妹齊藤ハルヨ（四七）は去る五月中東京市豊島區川元勝五郎の內妻として同居中去月末頃無斷家出したが前記清弱方に立寄らしいからと今三日勝五郎の親戚

鄉土の史的時事解説（二）
白水阿彌陀堂の第二回修理
本堂字の特別保護建造物並に內壇安置五佛像國寶各指定に就て

勿來生 （三六）

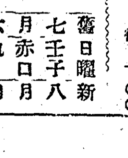
清衡は彼れの人物を見込んで、自分が眞衡の死後、彼れの嫡女常盤と名づくのを養育してゐたから、幸ひ成衡に妻あはせ、天承元年（一七九一）、剩外要郡の內十二萬石六千石を與へて入封せしめた。此の常盤は三子を産んで死去し、其の子等は後ちの隆衡、隆久、隆行（重胤とも）で、長男隆祐四男隆義は妾腹（二階堂宗祐女）であると云ふのだ次いで清衡は更に彼の女の死後に代はる後室には、賴義の女德姫を以てし、加之す彼女の化粧田六萬餘石を持參せしめ、前への本領と合せて十八萬石の身大となつて、陸奥海道數郡を領することになつた。そして此の妻が五男と二女を生み、永曆元年、夫が岩城に歿した後なは暫く攝政して民治に功あり、亡夫後白水村に五郡五子の爲に惣廟を創設して同族並に鄉土人の佛敎を深からしめ、百二十四歲までも長命して、賴朝が潜居より覇權まで音信を缺かさずしてゐた。云々

岩城子爵家傳來系圖上の人名、人數の混亂はさておき時代が全く異隔し、又事情も甚だ違ふから嘘妄、附會極まる卑本の一例に過ぎないが、とにかく岩城、平泉亘、安※等が夙くから親類であつたことだけを語るものと謂へよう

飯野八幡宮緣起（南北朝時代の作なるべし）に著はする清隆の嫡男師隆と右の者は、同名異人の傳說であるか否やは明かでない。後者は文治前後に書かれる併し瀧布岩城系圖では、師隆の子隆行（成衡とも）、其の子たか師、たか衡、たか久、たか義、重胤の五人は關係史料から考察すると、孰れも鎌倉中期以後の時代につき、岩城子爵系圖などに云ふ師たか—たか行は、其れより遡か前代のものでないと、同人と云ふことが出來ながらう。孰れにしたとこで清衡又は基衡と關係した岩城の初世師たかは、死ら安忠か或は其の嗣と假想する則道の兄弟の時代に該當するのではなからうか現今岩城本家の所傳圖と此れが類本の大半は信じられないのは無論、前記の師たか原注は全く不可解た

舊 日曜 新
七月六日 壬子 赤口 執 虚宿 八月四日

諸判定總宿 東京市本鄉區湯島四丁目五番地 島易斷總本部 神誠館

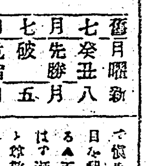


▲一白 氣運には不足なれど頼る人を失ふてふあり▲二黑 甘言を却け自己の念願に向ひ進めばとがなし▲三碧 不運ははなはだ深くして萬事訓ひ難く進むにふ可▲四綠 一事の失敗は萬事に影響し再起覺束なき日▲五黄 功を焦りてつまづきを生ずる日漸進するが有利▲六白 自由行動を採る時は思はぬ災禍ある注意日▲七赤 元氣わう盛にして志す所亦成るべき幸運の日▲八白 ちうちよする事なく全力を奮つて事に當れ吉▲九紫 築き上げたる土臺も殺む如き日病難亦注意

四日（小名濱測候所調査）
日出 四、四六 月出前 九、〇二
日沒 六、四〇 月沒後 八、四三
滿潮 前六、三〇 後七、一五 干潮 前一、〇〇 後一、〇〇

五日
日出 四、四七 月出前 九、五九
日沒 六、三九 月沒後 九、〇九
滿潮 前六、四五 後七、一五 干潮 前一、〇〇 後一、〇〇

舊 月曜 新
七月七日 癸丑 先勝 破 危宿 八月五日



▲一白 計畫は喰違ひ手の下し様なき窮境に陷る日▲二黑 力の有るに任せて跡に欠陷の殘る日▲三碧 難儀にそうぐうしても狼狽せず懷ねなれば安全▲四綠 八方に目を配りて徐々と進めばとがを免る▲五黄 一擧に事を遂げんと思はず漸進すれば安全▲六白 信用と尊敬とは益加はりて向上發展する日▲七赤 安心に過ぐれば後悔する事あり爭論を慎め▲八白 怒氣を發せず温和を旨とすべし病厄注意▲九紫 熱情に驅られて引込みのつかぬ事あるべし

故白世儀本年新盆相當候處時節柄誠に勝手加間敷は候へ共提灯其他供物等堅く御辭退申上候間不惡御了承被下度候
追而知己各位に一々御通知可申上筈の處乍略儀紙上を以て通知に換へ謹告候也
才槌小路 施主 大須賀元助

新盆の戒名入提灯
例年の通り御安く御注文に應じます。
弊店の提灯か……體裁が良くて値段の最も安い事は自分で一切の製造仕上げをする事こ場所が不便の爲で有ります
先づ第一に 提灯の樣な品は字體を書き上げて初めて其仕上げに値打が出るのであります以上の諸點を御認めの上大小に拘はらず弊店へ御注文下さる樣に御願ひ致します。
昭和十年七月
平才槌小路千葉辯護士前 金子提灯店

お新盆提灯大賣出し
岐阜提灯。本年新型。變形提灯。大內行燈。
一見凉味湧く優秀品、種類は數百種も御座います。是非一度御覽下さい。
尚本年度より製造元相談の上昭和十年製マーク入になりました、當店は全部マーク入れを扱つて居ります。
平二丁目 福多屋

新盆用佛壇と位牌ハ
山光堂佛具問屋
平四丁目局前 電550番
造花博士 花信
◇祖先崇拜ハ家庭繁榮ノ礎!!!

御位牌と佛壇佛具は
品よく値段の安い
橋本屋へ
平新川町 電一六三